

第5章 計画の数値目標

| 目標項目 | | 現状値 令和2年度 | 目標値 令和8年度 | |
|------|---|--------------|--------------|-------|
| 1 | 食育に関心を持っている人の割合の増加 | 18歳以上 | 72.2% | 90%以上 |
| | | 中学生から18歳未満 | 60.4% | 70%以上 |
| 2 | 食に関するボランティア数の増加 | 4,564人 | 10%以上増加 | |
| 3 | 栄養バランス等を意識した食生活を送っている人の割合の増加 | 76.3% | 80%以上 | |
| 4 | 食事をよく噛んで味わって食べる人の割合の増加 | 45.9% | 55%以上 | |
| 5 | 食品の選択・調理方法について知識のある人の割合の増加 | 73.4% | 90%以上 | |
| 6 | 朝食を食べない人の割合の減少 | 20～30歳代の男性 | 22.5% | 15%以下 |
| | | 20～30歳代の女性 | 15.3% | 10%以下 |
| 7 | 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加 (朝食+夕食の週平均) ※1下記参照 | 週10.1回 | 週11回以上 | |
| 8 | 学校給食への地場産物活用率 給食用食材に県内産の食材(肉・野菜等)を使用する割合 (重量ベース) ※2下記参照 | 63.8% | 70% | |
| 9 | 生活習慣病予防や改善のために、普段から食生活に 気をつけている人の割合の増加 | 62.8% | 75%以上 | |
| 10 | 地域等で共食したいと思う人が共食する割合の増加 | 77.6% | 85%以上 | |
| 11 | 地場産の農林水産物を意識して購入する人の割合の増加 | 81.1% | 90%以上 | |
| 12 | 農林漁業体験を経験した人の割合の増加 | 18歳以上 | 59.6% | 85%以上 |
| | | 中学生から18歳未満 | 81.5% | 95%以上 |
| | | 未就学児・小学生 | 84.0% | 95%以上 |
| 13 | 郷土料理や家庭料理、作法などを受け継いでいる人の割合の増加 | 47.5% | 55%以上 | |
| 14 | 食品ロスを知っている人の割合の増加 | 89.5% | 95%以上 | |

※1：「ほとんど毎日」を週7回、「週に4～5日」を4.5回、「週に2～3日」を2.5回、「週に1日程度」を1回として、朝食・夕食ごと(設問ごと)に、当該人数を掛け、合計したものを全体数で割り、朝食と夕食の回数を足して週当たりの回数を算出する。

※2：主食とする米・小麦粉及び牛乳以外

第6章 計画の推進体制

食育を推進するために、関係機関・団体と連携して取り組んでいきます。

【鹿児島市食育推進委員会】

市民や学識経験者、消費者団体、教育福祉関係団体、保健医療関係団体、農林水産業関係団体、食品関係団体の代表者で構成する組織で、本計画の推進や計画に基づく施策に関する協議を行います。

【鹿児島市食育推進連絡会議】

市役所内の関係部署で構成する組織で、本市の食育に係る事業施策が円滑に推進されるよう進行管理や情報交換などを行います。

【鹿児島市食育推進ネットワーク】

食に関わる各種関係機関・団体等が、お互いの情報交換・交流を進めるとともに、活動の協力などを行い、本市の食育の推進を図ります。